かわいっ子

小中一貫型
小野市立
河合小学校
令和６年 12 月臨時号

ー他者と共創し、主体的に学ぶ児童生徒の育成ー 「強く 正しく 温かく」

読書の効果～川島隆太教授 脳科学理論より～

学校評価アンケートへのご回答ありがとうございました。今年度２学期から開始した「読書・ノーゲーム・お手伝い・コミュニケーションの日」についておおむね肯定的な評価（AB 評価 92.6%）をいただきました。（学校評価の結果につきましては、３学期にお伝えします。）

何度もご紹介しておりますが、東北大学　川島隆太教授（小野市教育行政顧問）の脳科学理論によりますと、脳を発達させるために読書は非常に有効だということです。しかも、デジタルではなく紙の本がいいということです。言葉の意味を調べるのも、スマホなどで調べた時と紙の辞書で調べた時の記憶に残りやすさは明らかに紙のほうが上だという実験結果があるようです。何を目的にするかによって上手に使い分けたいものです。

脳の中でも前頭前野を鍛えることが将来の夢をかなえるためには必要です。それは前頭前野の仕事に「考える力・我慢する力・仲良くする力・頑張る力・覚える力・学ぶ力」があるからで、それらの力はどんな職業に就くにしても必要な力だからです。前頭前野を元気にするためには、早寝早起き朝ごはん、読み書き計算、人とのコミュニケーションなどが大切です。

ゲームをしている時やスマホを使っている時の脳は全く働かないため、長時間ゲームをしたりスマホで動画を見たりしていると脳はどんどん衰えてしまいます。スマホを長く使う人はすべての教科でテストの点数が悪くなるという実験結果まであります。こんな話を終業式の時に子どもたちにもしました。

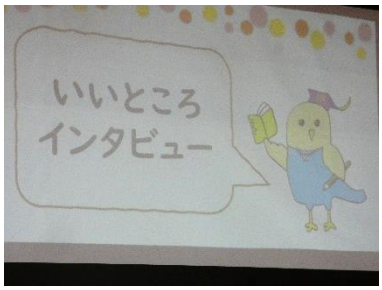
学校では、年間２回、お話サークルピッピさんによる「お話会」を実施しています。子どもたちは、４５分間集中してお話を聞いています。本が大好きな子どもたちです。

明日から冬休みです。どこか１日でも「読書・ノーゲーム・お手伝い・コミュニケーションの日」にご家族みんなで取り組んでいただけたらと思います。

いいところみぃーつけた！～人権集会より～

12 月 16 日（月）に人権集会を行いました。それぞれの学年が取り組んだ多文化共生授業についての報告の時間と、「自分や友だちの良いところ」を発表する時間を設けました。

まず、各学年の多文化共生の取組を報告しました。１年生はベトナム、２年生は中国とスリランカ、３年生は韓国、４年生はバングラデシュ、５年生はブラジルとの交流でした。国際交流協会、兵庫教育大学の留学生、One Drop（ワンドロップ）、保護者等、様々な方の協力を得て貴重な交流ができました。お話を聞いたり、料理を作ったり、現地の学校とオンラインで紹介をし合ったりしました。それぞれの交流で感じたことを発表し合い、学びの共有をしました。



次に、1 学期から全校生で取り組んでいる「自分と友だちの良いところを見つける」ミッションの発表をしました。友だちの良いところは「笑顔が素敵」「お願いしたらすぐにやってくれるところが優しい」「トイレのスリッパを並べている」「いつも静かにに掃除をしている」「朝の陸上練習に休まず参加している」自分は「苦手な音楽も頑張れるようになった」等、次々と良いところの発表がありました。とてもほっこりとする良い時間でした。

これからも、学校では「自分や友だちの良いところ」を見つけていき、みんなの前で発表していく機会を持ちたいと思います。

年末年始の家族団らんの時間などに、「家族の良いところ」をみんなで話してみるなど、ご家庭でもぜひお子様の良いところを認めてお話しいただけたらと思います。皆様、健康に留意され、よいお年をお迎えください。

1月の主な行事予定

８日（水）３学期始業式	２３日（木）児童会役員選挙
１０日（金）児童朝会	５年プログラミング学習
１５日（水）５年ダイハツものづくり体験	２４日（金）元気アップ
１６日（木）小野特近隣校交流（２・５年）	クラブ活動
１７日（金）元気アップ　委員会	３１日（金）学習参観・学級懇談会
避難訓練・追悼集会	お話会（お話サークルピッピさん）
１８日（土）北播駅伝大会	３年小野市珠算大会
	元気アップ